

## 第4章 水道ビジョンの基本理念

---

## 第4章 水道ビジョンの基本理念

## 第4章 水道ビジョンの基本理念

## 4.1 第4次魚津市総合計画

第4次魚津市総合計画では、市民と行政がまちづくりを進めていくうえで共有するまちのイメージとして、めざすべき将来都市像を設定しています。

(将来都市像)

<u>心躍る</u>	<u>うるおいの</u>	<u>舞台</u>	<u>魚津</u>
活気	水	市全体	
感動	自然	蝶六に代表されるような伝統的な踊りを踊る舞台	
	<u>笑顔で</u>	<u>絆つなぐまち</u>	
	健やか	市民の連携	
	安全・安心	過去から未来へと伝統・歴史を伝承する	

将来都市像の「うるおいの水」にもあるように、“水”は、安全で快適なくらしやすいまちを形成する上での重要な役割を担っています。

そこで水道事業においても、総合計画の将来像を踏まえた基本理念を設定し、事業を進めていきます。



高区第1配水池(PC造)

### 第4章 水道ビジョンの基本理念

#### 4.2 魚津市水道ビジョンの基本理念

魚津市の水道は、事業創設以来、清冽で豊富な水源に恵まれ、安定した水道水の供給を行ってきました。

しかし、近年の景気の低迷とともに、給水料金の収入は減少しており、水道事業経営の状況は厳しくなっています。また、新たな課題として、施設の老朽化更新や地震等の災害対策等の更なる安全性が求められてきています。

そこで、市民に安定した給水サービスを提供するための将来像として、基本理念を設定しました。

**基本理念：たゆることなくおいしい水がうるおい続けるまち**

なお、この経営理念にある「たゆることなく・・・」というのは、万葉の歌人、大伴家持が冷たく澄んだ雪どけ水が走る片貝川を歌ったものです。

「片貝の 川の瀬清く 行く水の 絶ゆることなく あり通ひ見む」（大伴家持）

片貝川の恩恵を受け、安全でおいしい水を絶やすことなく市民に供給していきたいという思いをこめています。

また、ここで掲げた基本理念の実現に向けて、魚津市水道ビジョンでは、4つの基本方針を設定して取り組んでいきます。

（基本方針）

- 1：おいしく飲める水道水の供給（安心）
- 2：災害に強い水道システム（安定）
- 3：効率的な施設整備と健全な経営の継続（持続）
- 4：環境保全への貢献（環境）

#### 4.3 計画期間

厚生労働省の策定した「地域水道ビジョン策定の手引き」では、ビジョンの目標期間をおおむね10年間としています。よって、本市の水道ビジョンについても、平成24年度～平成33年度までの10年間とします。